

切削オーバーレイ工 作業手順

	内 容	留 意 事 項	危険性・有害性の洗い出し	重篤度	可能性の 度合	リスク評 価	優先度	リスク低減措置
準備工	<ul style="list-style-type: none"> 作業打ち合わせ(KY活動) 作業内容、人員の確認 保護具の点検 使用機械、資材、工具の点検 上空支障物・地下埋設物の確認 	<ul style="list-style-type: none"> 安全品質作業指示書による。 指示書の内容確認。 マニフェストの準備。 日常点検の実施/SDSの確認。 事前に図面にて確認後、現場にて再度確認を行う。(埋設標等) 	<ul style="list-style-type: none"> 埋設物を切断する。 上空支障物件・架空線に接触する。 	1	1	2	I	埋設物を発見したら、作業一時中断。 事務所へ連絡
機械・機材の搬入	<ul style="list-style-type: none"> 機械・機材の搬入 	<ul style="list-style-type: none"> 規制内進入時一般車に注意する。 上空支障物件・架空線の有無確認。 荷下ろし前の重機の状態確認。 	<ul style="list-style-type: none"> 一般車との接触・追突。 上空支障物件・架空線に接触する。 重機荷下ろし時に転倒する。 	3 1 4	3 1 1	6 2 5	III I III	<ul style="list-style-type: none"> 車両間隔の確保・保安員の配置。 作業前の事前確認の励行。 荷降ろし時の作業順序の確認。
路面切削	<ul style="list-style-type: none"> 所定の高さまで切削を行う。 切削廃材は、10tダンプに過積載にならないように積み込む。 端部を人力ブレーカーにて斫り取る。 切削後、ロードスイーパー及び人力にて切削面を入念に清掃する。 	<ul style="list-style-type: none"> 切削深さに注意し行う。 切削殻の飛散・落下。 一般車への飛散防止を確実に進行。 切削屑の付着確認。 	<ul style="list-style-type: none"> 重機と作業員との接触。 切削廃材が落下し一般車に接触。 一般車に飛散する。 	5 3 5	2 3 2	7 6 7	IV III IV	<ul style="list-style-type: none"> 重機稼働時の人払いの徹底。 切削機の死角への立入禁止。 離脱前の積荷・清掃確認。 飛散養生ネットの活用。 飛散養生ネットの転倒防止。
乳剤散布	<ul style="list-style-type: none"> 路面清掃完了後、デストリビューターにてタックコートを一様に散布する。 端部及び縦ジョイントは、ミンスプレーヤーにて散布する。 	<ul style="list-style-type: none"> 一般車への飛散防止を確実に進行。 保護具の着用。 	<ul style="list-style-type: none"> 一般車に飛散する。 乳剤が目に入りケガをする。 	1 4	1 1	2 5	I III	<ul style="list-style-type: none"> 飛散防止対策の実施 保護メガネ、マスクの着用
舗 設 工	<ul style="list-style-type: none"> As混合物をAsフィニッシャーにて温度に留意しながら所定の厚さが得られるように平坦に敷均す。 敷均し完了後、速やかにマカダムローラにて初期転圧を行う。 二次転圧は、タイヤローラにて所定の密度が得られるように転圧を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 工場出荷時の温度から-20℃以上の材料は使用しない。 ローラに挟まれないように周囲の安全確認を行う。 転圧時、合材がローラに付着しないよう注意する。 	<ul style="list-style-type: none"> 運搬車両に激突される。 ダンプアップ時に上空支障物に接触。 重機後退時に接触。 	3 1 5	3 1 2	6 2 7	III I IV	<ul style="list-style-type: none"> 後退時の誘導の徹底。 ダンプアップ時の誘導。 後退時の人払いの徹底。
養 生	<ul style="list-style-type: none"> 転圧終了後、舗装温度が下がるまで、養生を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 舗装の規制開放温度は、40℃以下。 	<ul style="list-style-type: none"> 一般車が突っ込んできて怪我をする。 	5	2	7	IV	養生中は安全な場所で待機する
後片付け	<ul style="list-style-type: none"> 使用した道具、機材、余った材料等は、トラックに積み込み、最後に竹ぼうきなどで清掃する。 終礼の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 使用した道具等は、現場に忘れ物が無いように確認する。 はつきらず、合材かすが無い様に、綺麗に清掃する。 						

注意事項

- 作業に合った保護具の使用を行う。
- 有資格者による、機械作業を行う。
- センターライン付近の作業は、十分注意を行う。
- 一般車への飛散防止は確実に進行。
- 振動ローラーの取り扱いには、特に注意する。
- 廃材処理にはマニフェストを必ず使用する。
- 斫り作業中は、結束ロープ及びウェイトを取り外さない事を原則とする。
- 規制内での作業開始前「避難場所を定めて、避難訓練を実施する」